

**2011年2月 石原社長  
定例記者会見概要**

2月23日午後3時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

**<編成関連>**

下期は20週を終えて、全日4位、G帯5位、P帯4位という状況だが、全体としては視聴率が徐々に上向きつつあるという手応えを感じている。1月31日からの2週間を「ココロ元気ウィーク」と銘打ち、帯番組を中心に、心温まる企画をお伝えしたことも効果があったと認識している。開局60周年のハートプロジェクトの一環として行ったものだが、今後も視聴者の皆様に元気にするコンテンツをお届けしたいと思っている。4月改編については、苦戦している火曜日と水曜日を重点的に強化していきたいと考えている。

2011年度の野球中継は、地上波レギュラーシーズンのナイター4試合、デーゲームで4～5試合を予定しているほか、CS放送でもベ이스ターズ戦を中心に80試合以上の完全中継を予定している。今年は、斎藤選手や沢村選手、大石選手、ベ이스ターズの須田選手と、大物ルーキーも多いので、地上波で苦しい視聴率にどんな変化をもたらすのかという部分では、明るい期待を持てるかなと思っている。

**<営業関連>**

タイムセールスが厳しい反面、スポットセールスの好調が続いている。今年度のタイムセールスは前年度に比べて90%程度の着地となりそうだ。単発番組で1月10日に富士通SP『スポーツ人間交差点ライバル伝説』、1月31日から4夜連続でSMFG SP『風がはこんできたもの』を放送したが、特に『風がはこんできたもの』は良質な音楽番組として、視聴者からもスポンサーからも大変好評を頂いた。一方、スポットセールスは、1月は前年を25%以上上回る売上だった。5局シェアも回復基調にある。2月、3月も好調を維持しており、今年度の着地は、前年度に比べて110%程度になるだろう。

来年度については、レギュラー番組の改編セールスが佳境にあるが、スポットセールスは、4月以降も東京地区の投下量は活況で、特にナショナルクライアントを中心に安定した出稿が予想される。第1四半期の6月までは好調が続くと思っている。

**<事業関連>**

2月11日(金・祝)東宝系全国277スクリーンで公開された映画「あしたのジョー」は、3連休初日の全国的な雪で出足が心配されたが、20日までの公開10日間で、動員50万8千人、興行収入6億1700万円と好スタートとなった。また、昨年12月1日に公開した、映画「SPACE BATTLESHIP ヤマト」は、20日までの公開82日間で、動員331万人・興行収入40億3000万円の大ヒットとなった。

昨年、観客動員 100 万人を達成した赤坂 ACT シアターが、2011 年も豪華ラインナップで好調にスタートしている。スタンリー・キューブリック監督の傑作映画を舞台化した、小栗旬さん主演のパンクオペラ「時計じかけのオレンジ」は立見が出る程の人気だった。現在は堤幸彦さん演出・仲間由紀恵さん主演の琉球ロマネスク「テンペスト」が好評で、3 月 11 日からはミシェル・ルグラン作曲の「椿姫」をミュージカル化した「マルグリット」(主演:藤原紀香さん)が始まる。

#### <ラジオ関連> TBSR&C 加藤社長

12 月の聴取率調査の結果、57 期連続で首位となったが、セットインユースは非常に厳しい状況にあり、新規リスナー獲得に全力を尽くす。4 月編成ではナイター「エキサイトベースボール」を編成。これに先がけ、セリーグ開幕カードの巨人ー横浜戦を特別編成する。営業的には 1、2 月は順調だが、4 月以降のセールスは今が正念場。映画「ランウェイ☆ビート」にはラジオも出資社として参加、できるだけ宣伝展開をする。2 月 26 日(土)に「こども音楽コンクール文部科学大臣奨励賞授賞式」が東京オペラシティで開催される。ラジオだけでなくTV、BSでも放送を予定している。

以上